

3. 記録写真

令和6年度ホタルの里づくり 1年間の活動実績

■ホタルと自然の授業（濃南小学校4年生）…令和6年6月4日（火）

毎年、その年の小学校4年生の皆さんにホタルの幼虫飼育をお願いしています。

幼虫飼育の前にホタルのことをもっと知ってもらおうと事前に「ホタルと自然」をテーマに授業を行っています。

雄と雌の見分け方や、ゲンジボタルの一生をホタルの里づくりの会の会員が講師となって授業を行いました。ホタルのことを沢山学ぶ事で興味と愛情をもってホタルを育ててくれます。



■ホタルの水槽設置（濃南小学校4年生）…令和6年6月11日（火）

ホタルまつりが終わると、公民館・小学校・ホタルの里づくりの会・里親の皆さんが来年もたくさんのホタルが舞うことを願いつつ幼虫飼育を始めます。幼虫飼育は、最初に水槽を組み立てて設置する事から始まります。

里づくりの会の皆さんの指導のもと、飼育水槽5個を設置し、4年生21名の皆さんに幼虫飼育をお願いしました。

グループごとに分かれたメンバーと協力し楽しく飼育ケース（水槽）を作り上げました。



■ホタルまつりと竹灯り 令和6年6月15日（土）

ホタル情報（飛翔数）掲示

6月に入ると1年間の活動の集大成のホタルがきれいな姿で舞い始めます。ホタルの小路をはじめとした観賞スポットの案内看板やソーラー電灯の設置、ホタルの里の「のぼり旗」、観賞ベンチの設置、鶴里公民館前のホワイトボードのホタル情報・飛翔数の掲示により、毎日観賞に来町されるお客様が楽しく安全に鑑賞できるようにしました。





他県からも不特定多数のお客様が来町する「ホタルまつり」は、ホタルの「自然観賞会」をメインとして「ホタルのタベミニコンサート」「竹灯り」などを開催しました。本当に沢山の来場者が来場しコンサート・竹灯りとホタルの飛翔を楽しみました。



中学生ボランティア



■ホタルの幼虫配布～幼虫飼育 (R6.7月～R7.3月)

ホタルまつりの日に捕まえたホタルに産卵させた幼虫を、小学校や会員・里親へ配布します。幼虫は、髪の毛の先ほどの大きさなので、スポットで小さな幼虫を数えながら吸い上げ水槽へいれます。次にホタルのエサとなる巻貝(カワニナ)も近くの川から取ってきて入れました。各水槽で翌年の3月まで大切に育てます。





■ホタルの生息地の環境整備 令和6年9月15日(日)



ホタルが育つにはホタルの生息地の環境整備が不可欠です。

ホタルのエサとなるカワニナが自然発生するよう、カワニナ養殖場や堀切川の整備をホタルの里づくりの会の会員と公民館で定期的に行います。



■ホタルの幼虫掘出しと幼虫放流…(濃南小学校 4年生)令和7年3月4日(火)

鶴里公民館では、濃南小学校4年生にホタルの飼育と水槽の設置のお願いをしています。児童たちは約1年かけて幼虫の世話をし、命の大切さや自然を守ることの大切さなどを学び、班ごとに責任を持って育てています。すべての水槽からホタルの幼虫を掘り出し、近くの川に放流しました。

掘り出しの様子



ホタルの幼虫



■ホタルの学習発表会

令和7年3月16日(火)

小学校4年生の皆さんでお世話になった公民館やホタルの里づくりの人たちにお礼に授業を参観して欲しいとお誘いがあり1年間の学習の成果を発表してくれました。すべて自分たちで調査して発表をしたとの事で感激しました。



■ホタルの放流会（一般の部）

令和7年3月16日（日）

鶴里公民館とホタルの里づくりの会会員が育て掘り出したホタルの幼虫約1,000匹を一般公募の皆さんに放流してもらいました。幼虫放流の後、鶴里町の各河川にホタルの幼虫の餌となるカワニナという巻貝を散布しました。6月には成虫となり綺麗な姿で飛び交ってくれると思います。

